

不正改造や不正受検の防止への新たな取組みに向けて - 平成17年度事業計画の重点事項 -

自動車検査独立行政法人（略称：自動車検査法人）は、7月1日で設立3周年を迎えました。

今後は、法人運営の基本理念に則り、確実に業務を実施することを基本としながら、今年度から、不正改造車や基準不適合車の排除のため、一般の方からの通報に基づく追跡調査の試行や、各地で開催されるカスタム・カー等のショウにおける指導と車両の確認を行うことなどを当法人の新たな任務として実施していきたいと考えております。

また、今後、新規検査時における車両の画像記録を電子的に保存することにより、二次架装等の不正受検を防止する取組みを検討したいと考えております。さらに、審査結果を記録した検査票等の検査データを電子的に処理するシステムの試作等により、分析した結果を将来的にユーザーに情報提供して点検・整備意識の向上を図るための手法を検討し、19年度からの新たな中期計画期間中に導入していくことにより、当法人の業務を新しい時代に担うべき役割に適應させていきたいと考えております。

その他の項目を含めた17年度事業計画における重点事項としての新たな取組みの概要は、次のとおりです。

1. 検査の質の向上

ディーゼル車黒煙検査における審査精度の向上、ディーゼル車の使用過程車を対象とした新たな審査方法の検討等を進め、検査の質の向上を図ります。

2. 不正改造車排除への取組み

ホームページに不正改造等の通報窓口を設け、通報に基づく追跡調査を試行します。また、カスタム・カー等のショウにおける車両の指導と確認を行います。

3. 不正受検防止への取組み

新規検査における車両の画像を電子的に記録・保存し、受検車両と比較することを検討し、検査後の二次架装等の不正受検防止に取り組みます。

4. 受検車両についての情報提供の取組み

審査結果を記録する検査票を始めとした検査データを電子的に処理するシステムの試作等により、将来的に分析した結果をユーザーに情報提供することによって、点検・整備意識の向上を図るための手法を検討します。

5. 街頭検査の拡大実施

全国で9万台（前年度比約6%増）を目標に街頭検査を拡大して実施します。

6. 受検事故の防止

安全衛生運動を推進し、受検者、受検車両等に事故の無い安全な検査場を実現することを目指します。

7. 利用しやすい施設の整備

福山事務所について、検査場の移転・新築及び二輪車用検査コースの新設を行うこととし、本年7月19日の開所を予定しています。

また、長岡事務所と相模事務所について、検査場の建替えることとしており、新検査場の運用開始は、それぞれ本年12月と18年中の見込みです。

さらに、湘南事務所について、検査場の混雑緩和のために検査コースを増設することとしており、運用開始は本年12月の見込みです。

(参考) 平成17年度予算

収入が11,781百万円（うち、運営費交付金8,934百万円、施設整備費補助金2,139百万円）支出が11,781百万円（うち、人件費6,028百万円、業務経費1,711百万円、一般管理費1,296百万円、施設整備費2,139百万円）を計画です。

お問い合わせ先

〒160-0003 東京都新宿区本塩町8-2住友生命四谷ビル
自動車検査法人本部 企画部企画課 是則、橋本
電話 03-5363-3441 (代表)
03-5363-3444 (直通)
FAX 03-5363-3347
E-mail kikakuka@navi.go.jp

自動車検査法人設立3周年に当たって



自動車検査法人は、平成14年7月1日に発足して以来、本日をもって3周年を迎えました。

この間、当法人は、自動車の安全確保と公害防止のため、全職員が一丸となって、厳正かつ公正な検査の実施に努めてまいりましたが、各地方運輸局等によって個別に実施されてきた検査業務を法人として一元的に取り扱うための改善がようやく軌道に乗り始めたところです。一方、最近の検査を取り巻く社会情勢の変化は目まぐるしく、当法人が社会にどのように貢献しているかを一般の方々にご理解いただけるよう、積極的にアピールしていかなければならないと痛切に感じております。

このため、今後は、法人運営の基本理念に則り、確実に業務を実施することを基本としながら、今年度から、不正改造車や基準不適合車の排除のため、一般の方からの通報に基づく追跡調査の試行や、各地で開催されるカスタム・カー等のショーにおける指導と車両の確認を行うことなどを当法人の新たな任務として実施していきたいと考えております。

また、今後、新規検査時における車両の画像記録を電子的に保存することにより、二次架装等の不正受検を防止する取組みを検討したいと考えております。さらに、審査結果を記録した検査票等の検査データを電子的に処理するシステムの試作等により、分析した結果を将来的にユーザーに情報提供して点検・整備意識の向上を図るための手法を検討し、19年度からの新たな中期計画期間中に導入していくことによって、当法人の業務を新しい時代に担うべき役割に適應させていきたいと考えております。

これら、当法人の新たな社会的役割を実施に移していくには、皆様方のご理解とご支援が不可欠であります。皆様方におかれましては、これまで同様、法人業務へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

終わりに当たりまして、皆様方のご健勝とご発展を心から祈念いたしまして、法人設立3周年に当たっての言葉といたします。

平成17年7月1日

自動車検査独立行政法人
理事長 橋口 寛信